

平成22年度CSI委託事業報告交流会成果報告

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

一橋大学学術・図書部学術システム課

<https://hdl.handle.net/2324/19740>

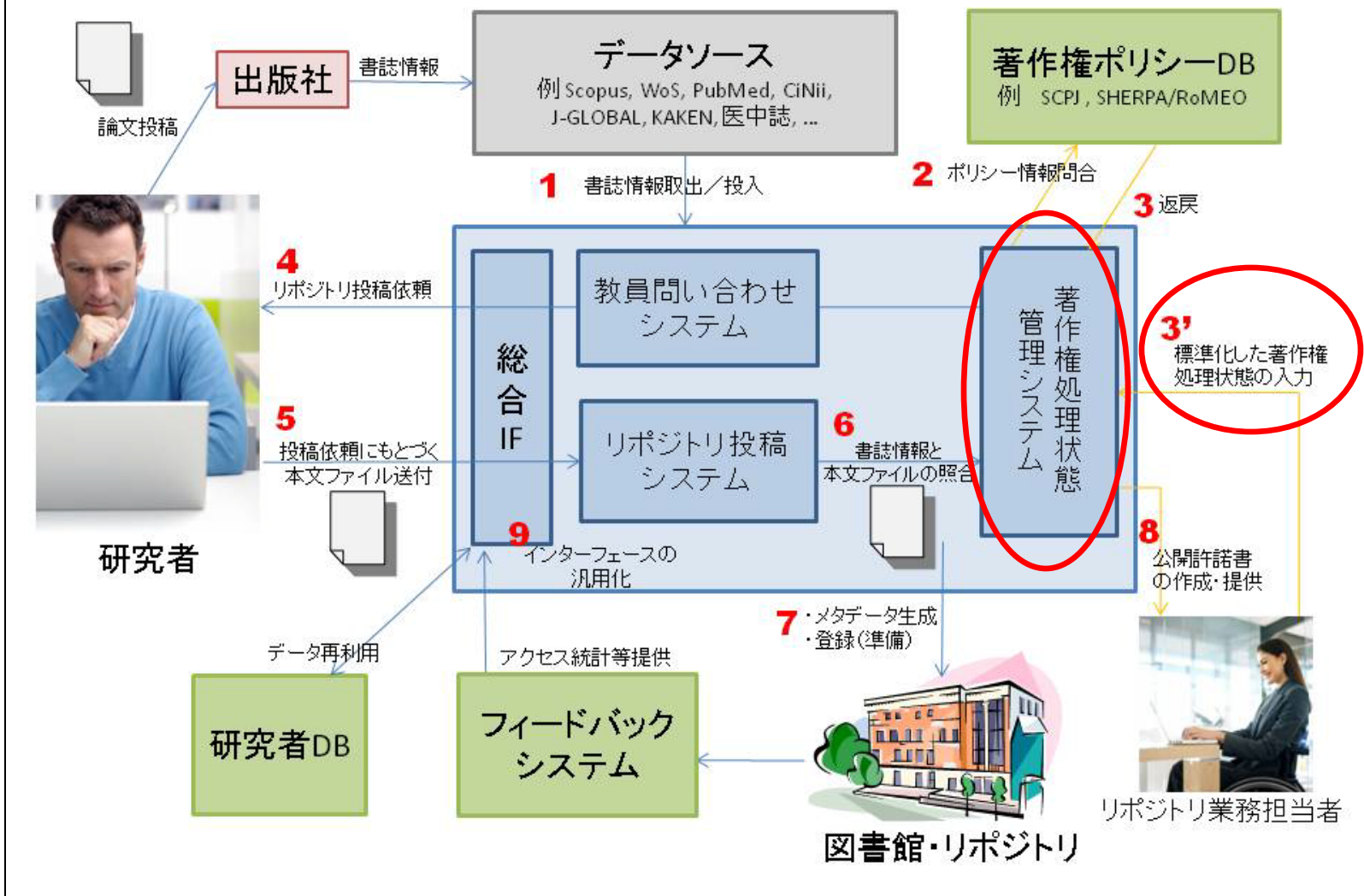
出版情報：2011-06-13
バージョン：
権利関係：

著作権処理の標準化について

一橋大学学術・図書部学術システム課
主査(コンテンツズ主担当) 阪口 幸治

システム全体図

文献自動収集・登録ワークフローシステム



目的・趣旨

- 今回のプロジェクトで開発するシステムのうち、著作権処理状態管理システムの開発仕様案を作成すること。
- 多くの機関にとって有用なシステムにするため、各リポジトリで行っている、雑誌論文の著作権処理の標準化を行う必要がある。

著作権処理方法の調査

- 平成22年8月：
 - 全国アンケート項目調査のための近隣8大学へのヒアリング調査
- 平成22年10月：
 - 全国アンケート調査。133/168機関から回答あり(回答率79%)
- 平成22年12月～平成23年1月：
 - 全国12大学へのヒアリング調査

調査でわかったこと

- 雑誌論文の著作権処理で管理している状態の項目(著者許諾依頼中など)は、どこもほぼ同じ。
- 著作権処理の進め方(著者、出版者への許諾依頼の順番など)は、機関により、バラつきがあった。
- 著作権処理で苦労している点は、主に、著者の連絡先調査と出版者の許諾の2つ。
- 研究成果の把握は、研究者DBで行っている機関が比較的多かった。

著作権処理の標準化

管理すべき状態

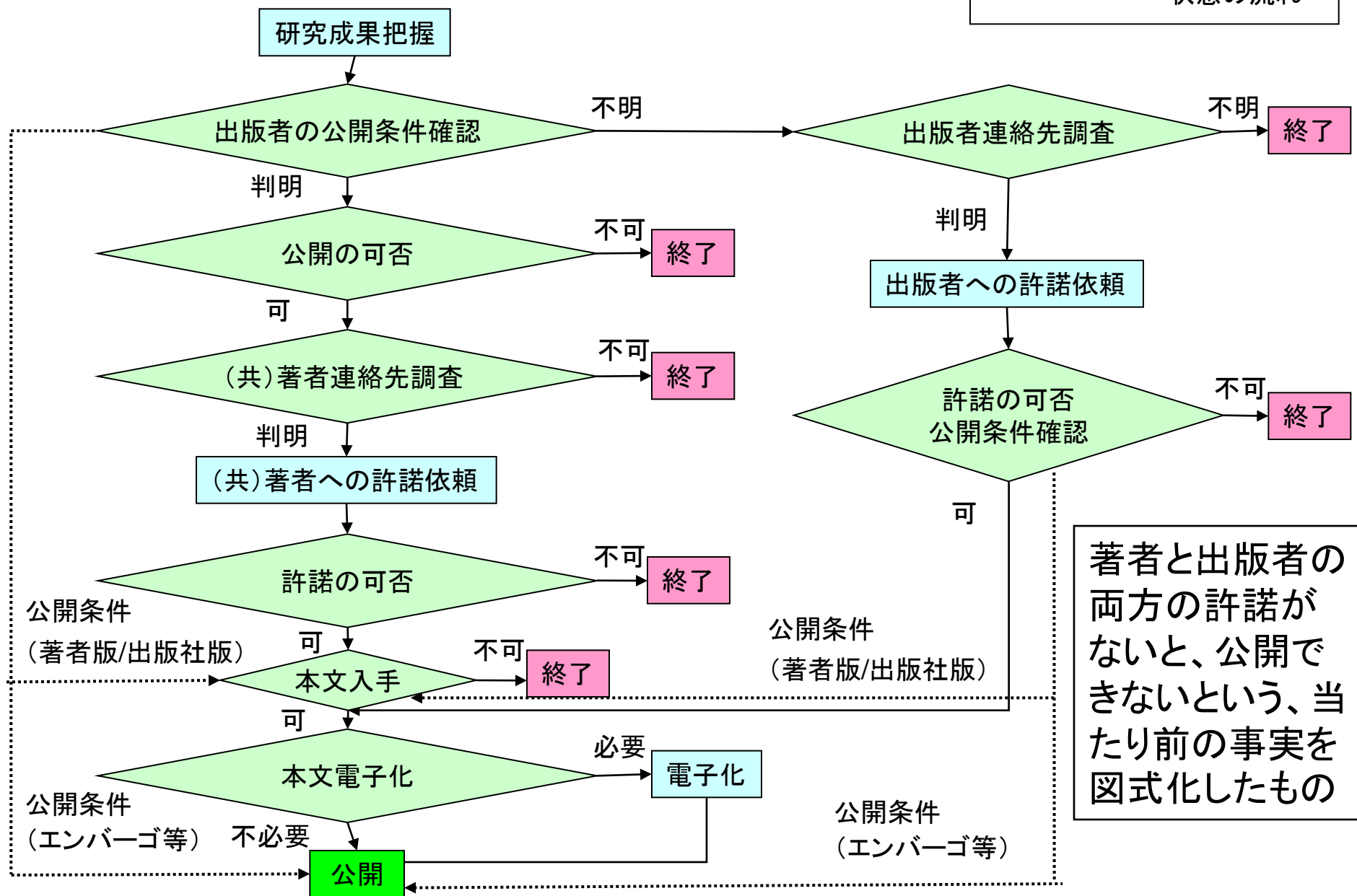
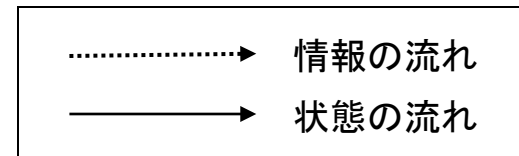
- 未着手
- 出版者著作権ポリシー確認中
- 著者連絡先調査中
- 出版者連絡先調査中
- 著者許諾依頼中
- 出版者許諾依頼中
- 本文提供待ち
- 電子化待ち
- 公開済
- 終了
- 備考

管理すべき情報

- メタデータ
- 著者連絡先
- 著者許諾依頼手段
- 著者許諾結果
- 出版者著作権ポリシー
- (著者版/出版社版、エンバーゴ期間、その他)
- 出版者連絡先
- 出版者許諾依頼手段
- 出版者許諾結果
- 備考

※上記は、各リポジトリで管理している状態や情報の和集合である。それゆえ、機関によっては使用していない状態や情報も多くある。

標準的雑誌論文著作権処理ワークフロー案



著作権処理状態管理システム開発仕様案概要①

[基本機能]

1. 様々な著作権処理の進め方に対応するための、状態遷移の順序の自由度
2. 各機関で管理するローカル出版者DB構築機能
3. 共著者への許諾依頼機能
4. Excel形式での入出力可能化によるローカルデータとの連携機能
5. リポジトリソフトウェアへの自動登録機能

著作権処理状態管理システム開発仕様案概要②

[拡張機能]

1. システム導入の容易さ
2. 出版者問合せ負担軽減のためのローカル出版者DBの共有化
3. 研究者DBのデータソース可能化などの研究者DBとの密接な連携機能
4. システムの部分的導入を可能にするためのサブシステムのモジュール化機能

今後の課題

この著作権処理状態管理システム開発仕様案は、アンケートやヒアリング調査での各機関からの要望をMAXで反映させたものである。

⇒すべての機能を実現することは難しい。予算、運用の持続可能性、各機関からの意見・要望等を考慮し、今後、実現可能な機能を絞り込む必要がある。